

Vieureka Camera App Challenge2021応募申請書

提出日 2021 年 11月 25日

所属企業名 /学校名	大島商船高等専門学校	
部署名/学部名	情報工学科	
ふりがな 代表者名	(ふりがな) いしづりょうま 石津龍真	
代表者TEL	080-9797-4837	
代表者メールアドレス	i17089@oshima-k.ac.jp	
チームメンバー氏名 /メールアドレス	(ふりがな) くりはらゆうや	(メールアドレス)
	(氏名) 栗原佑弥	i17099@oshima-k.ac.jp
	(ふりがな) いわもとしゅうや	(メールアドレス)
	(氏名) 岩本修也	d21003@oshima-k.ac.jp
	(ふりがな) すえおかゆうま	(メールアドレス)
	(氏名) 末岡祐馬	d21007@oshima-k.ac.jp
	(ふりがな) よしだしょうご	(メールアドレス)
	(氏名) 由田翔吾	d21013@oshima-k.ac.jp
	(ふりがな) りょうけなおや	(メールアドレス)
	(氏名) 領家直哉	d20007@oshima-k.ac.jp
応募部門	<input checked="" type="checkbox"/> アイデア部門 <input checked="" type="checkbox"/> アプリ開発部門 ※両部門応募の際は両方にチェックください	
作品名	ジェスチャーでスライド制御	
作品の概要 (ユースケース、解決できる課題等)	スライドを使って発表するときに、発表者の前にVieurekaカメラを設置しPC側でアプリを起動することで、ジェスチャーを使ってスライドを制御できるようになる。本アプリを用いることで、レーザーポインタを持つ必要がなくなり、自然な流れでジェスチャー動作ができるようになるため、発表のテンポを崩すことがなくなる。またジェスチャーを用いて発表をしているうちに自然と緊張がほぐれ表情が柔らかくなり、より良いプレゼンを行うことができる。	

ジェスチャーでスライド制御

ジェスチャーでスライドを楽しく動かす

【サービス要約】

我々はVieurekaプラットフォームに対応したジェスチャー認識アプリの開発を行い、2022年03月31日よりジェスチャーを使ってスライドを操作するサービスの提供を開始します。スライドを用いたプレゼンテーションの際に、Vieurekaカメラを設置しアプリを実行することでジェスチャーを使ってスライド上のポインタを操作できるため、スクリーン上に影を映すことなくプレゼンをすることが可能になります。

【課題】

レーザーポインタを用いてプレゼンを行った場合に、ポインタが動かないように腕を固定する必要があるため、ジェスチャーの妨げになってしまいます。ほかにも指示棒や手を使って直接指すとスライドに影が映ってしまい見づらくなってしまいます。

ほかにもマウスを使ってポインタを表示し操作することも可能ですが、プレゼン中にマウス操作を行うとPC画面に集中してしまうことから視線が下に落ちてしまいます。発表ではスライド上の情報だけでなく、ジェスチャーや顔の表情、声の抑揚も情報を伝えているため、発表者の顔の表情やジェスチャーがスクリーンの脇で見えるかどうかで発表のわかりやすさは大きく変わってしまいます。

【課題解決】

本アプリはレーザーポインタを持つ必要がなくなるため、ジェスチャーをするたびにわざわざレーザーポインタや指示棒を置く手間がなくなり、スムーズにジェスチャーに移行することができるようになります。そのため発表のテンポが崩れることもなくなり、より相手に伝わりやすい発表を行うことができます。またPCからポインタを表示させるため、スクリーン上に影を作ることもありません。ほかにも全身を使って発表をすることで体の緊張をほぐすことができ、顔の硬直や

声の震えといった症状を軽減することができるため、より自然な発表を行うことができます。

【リーダーの言葉】

「パソコン上でポインタが出力できるようになったことによりマウス操作に集中してしまった結果、モニターを見たままプレゼンする機会が増えてしまっています。プレゼンとはスライドの出来だけでなく、顔の表情や声の抑揚、ジェスチャーなど様々な要素が絡み合い初めて良いプレゼンが完成するのです。」と語るのは大島商船高等専門学校情報工学科所属の石津龍真。「本アプリを用いて体を使って発表することで、まずはジェスチャーの手助けをしようと考えています。またジェスチャーを使って発表しているうちに自然と緊張がほぐれ表情も柔らかくなり、より良いプレゼンが生まれると考えています。」

【はじめ方】

発表者の前にVieurekaカメラを設置し、PCでアプリを起動したら準備完了です。難しいセットアップはありません。思う存分発表しましょう。

【お客様の声】

作成したアプリを用いてプレゼンテーションを行った大島商船高等専門学校の学生のコメントを紹介。「今までマウス操作でどうしても視線がPCに落ちがちだったけど、このサービスのおかげでスライドに集中できるようになりました。また、全身を使って発表をすることで、自然と緊張もほぐれ表情を柔らかくなっていくのを感じました。導入もカメラを設置してアプリを実行するだけなので簡単なものいいですね。」

【次のステップ】

現在、ポーズをとることで次のスライドに進むといったアイデアを取り入れていこうと考えています。またそれ以外にも様々な意見を取り入れてより良いアプリを目指していこうと考えています。ぜひ本アプリを用いた発表をご検討してみてください。